

【募集人員】 市内在住の中学生（16名）

【自己負担】 20,000円(アルバム・保険代金等)

【派遣日程】 2019年8月17日(土)～24日(土)

渡航手続費用(旅券印紙代等)、事前・事後研修に参加するための交通費、旅行中の個人的な費用は別途必要です

## 応募の条件

- ◇明確な目的意識をもち、派遣に対して熱い思いを持って参加できること。
  - ◇チームの一員として責任ある行動がとれる者。
  - ◇現在岐阜市在住の中学生であること。
  - ◇健康で体力に自信があること。(通常の海外旅行とは異なり、行程や活動等、かなりハードになります。)
  - ◇事前事後の研修及び説明会にすべて参加できること。
  - ◇保護者の同意が得られた者であること。
  - ◇応募前及び選考結果を本人が在籍校校長に申し出ること。
  - ◇パスポートの有効期限が発日時点で6ヶ月以上あること。
  - ◇過去の本市の海外派遣事業に参加していないこと。
- ※学校行事、部活動の大会等の日程を確認の上、応募いただきますようお願いいたします。

## 選考方法

応募書類、課題作文、面接による選考を行い、派遣生を決定します。

◇選考会日時 2019年5月12日(日)9:00～

◇会場 岐阜市役所西別館

住所:岐阜市江川町27番地

※面接等の詳細は5月初旬に応募者に通知します。

※駐車場は、市役所本庁舎西側駐車場をご利用ください。

《課題作文》

面接日に800字程度の作文を書きます。作文の課題は当日示します。

\* 選考結果は、5月下旬に文書にて通知します。

本事業の内容、日程等は国際情勢等諸般の事情により変更する場合があります。

※食物アレルギー等の健康上の心配や配慮の必要があると思われる場合は、保護者が申し込みの前に必ず担当者にご相談ください。

## おもな行程

1日目： 岐阜⇒シェムリアップ国際空港へ

2日目

3

7日目

8日目： シェムリアップ国際空港⇒岐阜へ

一般的な観光ではなく、人との交流、自然体験を中心とした内容・日程です。

- ・学校や市場、民家などの訪問と交流
- ・カンボジアを代表する大自然の体験等

## 事前・事後研修

【派遣生・保護者事前説明会】

5月25日(土) 13:00～17:00  
(中央青少年会館)

研修①: 英会話研修・カンボジアの学習・カンボジア人との交流等

6月9日(日) 13:00～17:00 (中央青少年会館)

研修②: カンボジアの歴史・先輩との交流等

6月30日(日)13:00～17:00 (中央青少年会館)

研修③: 名古屋研修・ビザ申請・鶏飼体験

7月24日(水) 8:00～21:00  
(名古屋研修・中央青少年会館・鶏飼体験)

【派遣生・保護者最終説明会】

8月4日(日) 13:00～17:00  
(中央青少年会館)

研修④: 海外渡航の準備と心得

8月4日(日) 13:00～17:00 (中央青少年会館)

研修⑤: 現地での体験をふりかえって

9月1日(日) 9:00～12:00 (中央青少年会館)

研修⑥: 体験報告会

10月27日(日) 10:00～12:15 (メディアコスモス)

※10月13日(日)午後体験報告会リハーサルを行います。

\* 研修の内容は変更する場合があります。

\* 上記の保護者説明会には、保護者の参加が必要です。

## 申し込み・問い合わせ先

参加申込書に、必要事項を本人の手書きで記入し、期間内に下記まで送付するか直接持参してください。

《申込書の入手方法》

- \* 市内各中学校にお預けしてあります。
- \* 「岐阜市ホームページ」の教育委員会事務局 青少年教育課のページよりダウンロードできます。

《募集期間》

2019年4月10日(水)～4月25日(木)

※最終日17時必着

《あて先・問い合わせ先》

〒500-8720 岐阜市神田町1丁目11番地  
岐阜市教育委員会 青少年教育課内  
「夢プロジェクト事業実行委員会」事務局宛  
Tel (058) 214-2367

## 30年度事業「夢inモンゴル」に参加して

僕の将来の夢はモンゴルに行き決まりました。この大草原で出会ったガゼルや、馬やラクダたちが草原で伸び伸びと暮らす姿を見て、世界で絶滅しつつある動物や生物の研究をし、生態系を保つ仕事に取り組みたいです。そのためには、まずは環境省の自然保護官になることが大切です。勉強は勿論ですが、パークボランティアなども体験して、自然保護の世界を見ていくことも必要になります。そして将来は、自然保護についてのプロフェッショナルとして、地球温暖化の防止に繋がる活動もしていきたいです。(森光生さん 現高校1年)

私の将来の夢は、特別支援学校の先生になることです。私はモンゴルで信じて支え合うことがどれだけ嬉しくて幸せかということを学びました。ハンディキャップのある子どもたちのあふれる可能性を信じ、支え合って、輝く将来を一緒に創っていける先生になりたいです。

(堀口由楽さん 現中学校3年)